

2026年5月24日(日)

SUPER FORMULA 第5戦 予選・決勝

鈴鹿サーキット

## 予選結果

#64 : 11位

#65 : 10位

## 決勝結果

#64 : 9位

#65 : 8位

## 概要

- ・公式予選 Q1 では佐藤はトップタイム、フラガも3番手タイムで Q2 へ
- ・Q2 では走路外走行の判定で2台ともに当該ラップタイム抹消となり、佐藤は11番手、フラガは10番手
- ・決勝は激しいバトルが続くなか、粘り強い走りを見せて佐藤は9位、フラガは8位フィニッシュ

## コメント

総監督：中嶋 悟

「昨日とは違って、今日は自分たちのリズムで安定したレースができたと感じていま

す。獲得したポイント自体は多くありませんが、このポイントには大きな意味があると思っています。次戦から必ず巻き返します。今大会もたくさんのご声援をありがとうございました」

監督：伊沢 拓也

「昨日の佐藤選手の不運やイゴール選手のクラッシュを考えれば、今日はとても良い一日だったと思います。65号車は遅い時間までかかって車両を修復しましたが、予選でしっかりとパフォーマンスを見せてくれて、チームの頑張りを証明してくれました。2台そろって走路外走行の裁定を受けてしまったのは残念ですが、パフォーマンスを確認できたことはポジティブにとらえています。レースでは、準備してきた作戦をしっかりと遂行できて、ポジションも上げることができました。もう少し上を狙いたかった気持ちもありますが、タイヤ交換も2回とも決めることができましたし、久しぶりに2台そろってきちんとレースを戦い、まともに終わることができたのは大きいです。速い遅いだけの話ではなく、ここ最近は流れが崩れかけていたので、今日のレースが、その流れを変えるきっかけになってくれればと思います」

#64：佐藤 蓮

「Q1ではグループのトップタイムをマークして、マシンのバランスも非常に良かったのですが、Q2に向けたアジャストを失敗してしまったことで、アンダーステアの状態です。走ることにになり、走路外走行を採られる結果になってしまいました。残念ではありますが、そういうデータを獲ることができたことと切り替えました。決勝では、ピットインのタイミングを引っ張って終盤に追い上げる作戦を採りましたが、ポイント獲得はしっかりと果たせたので良かった半面、やはり序盤の地力が足りていないと感じました。次戦以降に向けて、そこが課題だととらえています」

#65：イゴール・オオムラ・フラガ

「Q1ではトップから0.1秒差の3番手につけ、昨日のクラッシュからここまで戻せたことを考えると、悪くない感触でした。Q2でも暫定3番手タイムを出せており、パフォーマンス自体はあったと思うので、走路外走行の裁定は痛かったです。決勝はスタート直後から前後で激しいバトルが続く展開でしたが、まずは最後まで生き残ってチェ

ッカーを受けることができ良かったです。佐藤選手とは反対の作戦を採りましたが、最終的なポジションはほとんど同じで、上位陣と比べると、まだペースでは後れを取っていると感じています。次の富士大会前にはテストがあるので、そこでしっかりと方向性をつかみにいきたいです。」

※次戦は7月18日・19日に富士スピードウェイで開催されます。